
まとめ

ルエル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まとめ

【Nコード】

N6375T

【作者名】

ルエル

【あらすじ】

今までの事をなんとなく、まとめてみました。

書いた時期が違っているので、途中変なところもありますが、ご了承ください。

連載形式になっているのも同じ理由で、一応区切り（場面転換）の意味で取って頂けると幸いです。

自分のみの目線ですので、し注意ください。

結果論1

私は、走る。
ただ、ただ、ひたすらに。

はじめは、歩いていた。
ゆっくりと。

横には、必ず誰かがいて、その『誰か』とずっと一緒にいられるように、と。

一緒にいられる幸せを噛み締めるように。
トコ、トコ、と。

わたしより、ずっと背の高い男の子や、髪の高い女の子、活発な感じの子に、ショートヘアの子。

その時、その時で『誰か』の姿は違っていった。

だけど、必ず一緒に歩いていた。

ただ道があるだけの真っ白な世界を。
ゆっくりと。

はじめは、歩いていた。

ゆっくりと。

一歩一歩を、しっかりと踏み締めて。
幸せを、噛み締めて。

だけど、いつしか、当たり前だと、感じてしまっていた。思っ

まっていた。その『幸せ』が。

彼女達の、彼らの横にいられるという事が。

気付くと、小走りになり、そして、走っていた。

ただ、道があるだけの真っ白な世界を。

『誰か』との距離は少し、でも確実に離れていた。

わたしは、走る。

ただ、道があるだけの真っ白な世界を。

結果論2

ある日、不意にわたしは転んだ。

何かの出っ張りに躓いて。でも、誰かに押されたような気もする。

………なんとなく、この先に何かがあるのか、どうなるのか、わかっていたのに気付かぬ振りを。知らぬ振りをしていたのかもしいない……。

転んだと同時に、辺りが、視線の先が暗くなった。

そして、共に感じる浮遊感。

大きな穴に落ちたのだと、気付くのに時間はかからなかった。

上を見ると、丸く切り取られた白が徐々に小さくなっていく。

その中に、人影を見たような気がするが、暗闇から見る光は眩しすぎて、何なのかわからなかった。

「さようなら」と、響く声は誰のものだったか。

遠ざかって行く光を見続けるのは辛いから、そっと目を閉じ、痛みも感情も、全てを遮断する。

目を開けると、穴の奥深くだった。

光なんか、届きやしない。見えもしない。

何故、こんな所にいるのだろう。

考えてみると、すぐに答えは見つかった。

「……これで、よかったんだ」

なんとなく口にした言葉。

奇妙なまでに反響して、虚しさが溢れる。

押し殺した声さえも響き渡るこの空間は、ただただ暗く、とても冷たく、そこには温もり（なに）も無いと言っていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6375t/>

まとめ

2011年10月8日01時37分発行